

山梨大学地域防災・マネジメント研究センター  
 山梨経済同友会/中部横断自動車道経済懇談会

**中部横断自動車道  
 北部区間(長坂～佐久・小諸間)開通による整備効果**

国立大学法人 山梨大学地域防災・マネジメント研究センター 教授 武藤慎一  
 山梨経済同友会 代表幹事 入倉 要  
 中部横断自動車道経済懇談会会長(佐久商工会議所会頭) 中川 正人

日 時:令和5年7月11日 13:30～

場 所:山梨大学甲府キャンパス T1号館804号室(会議室)

**中部横断自動車道の概要**



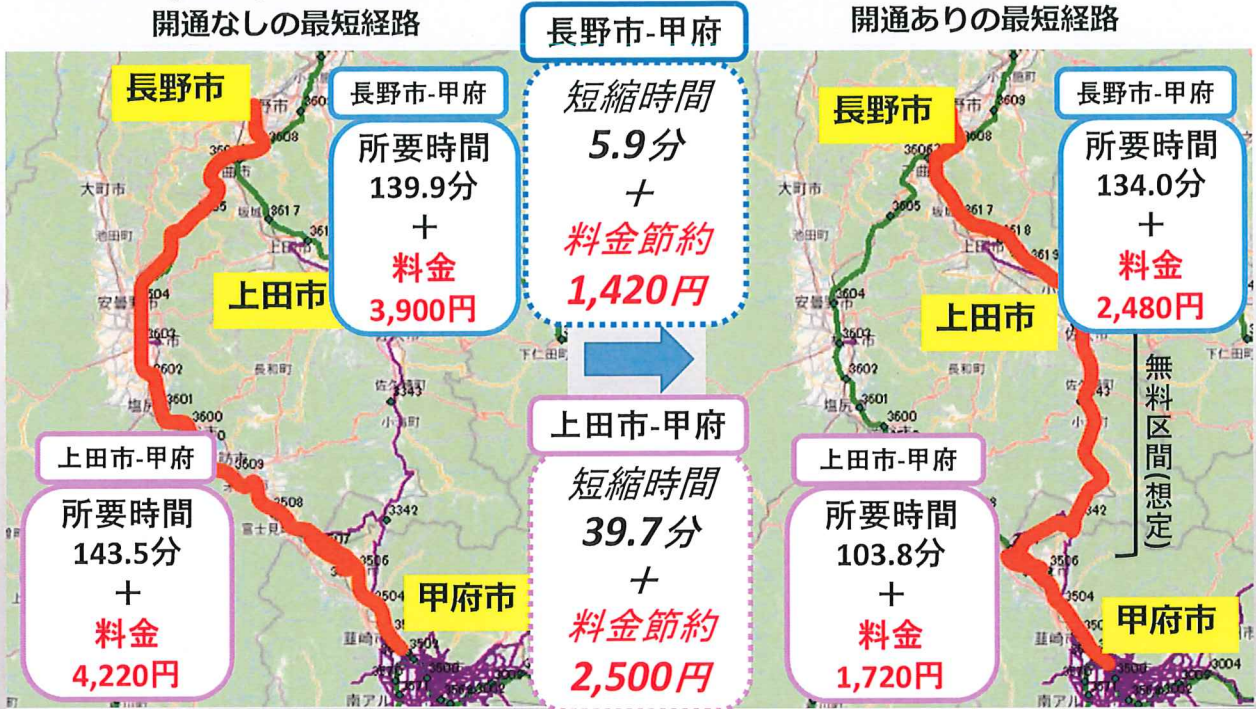


# 中部横断自動車道整備による経路変更

【長野市(上田)-甲府市】

開通なしの最短経路

開通ありの最短経路



甲府→中央自動車道

甲府→中央自動車道→中部横断道

→長野(上信越)自動車道→長野市(上田市)

→長野(上信越)自動車道→長野市(上田市)

## 経済効果

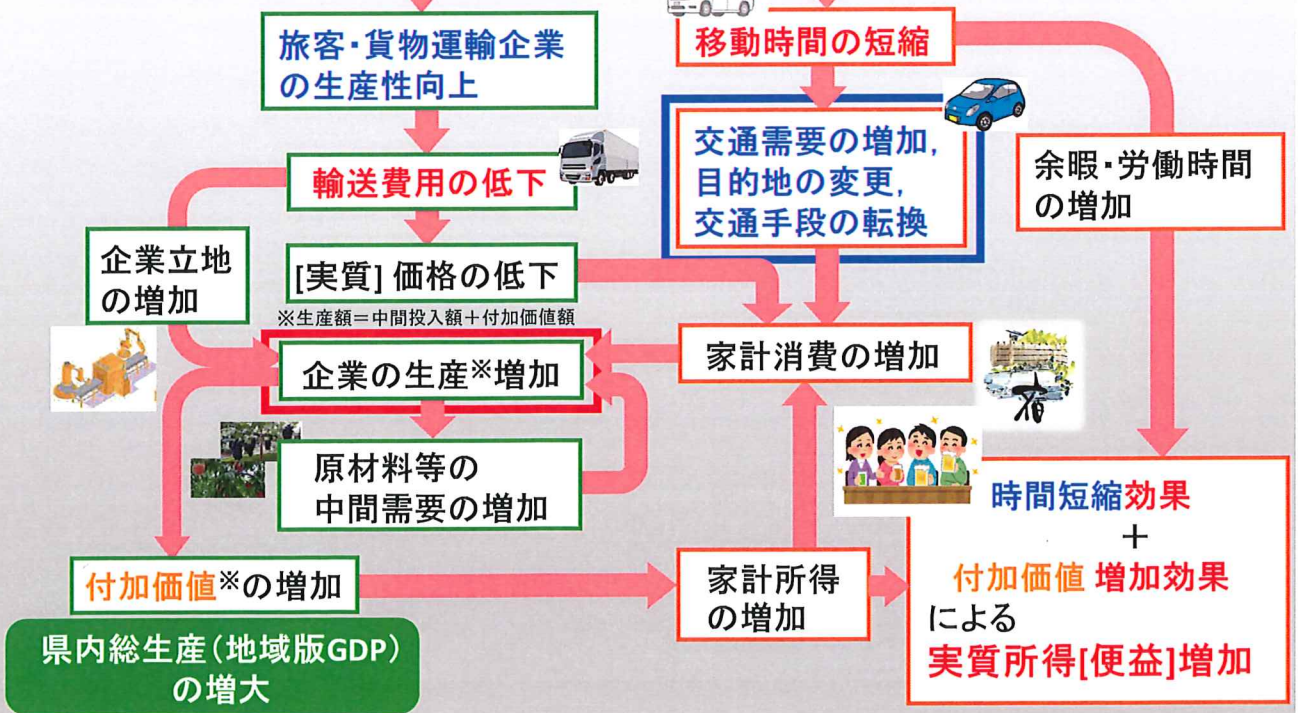
中部横断自動車道開通

交通所要時間短縮



企業の効果

家計の効果



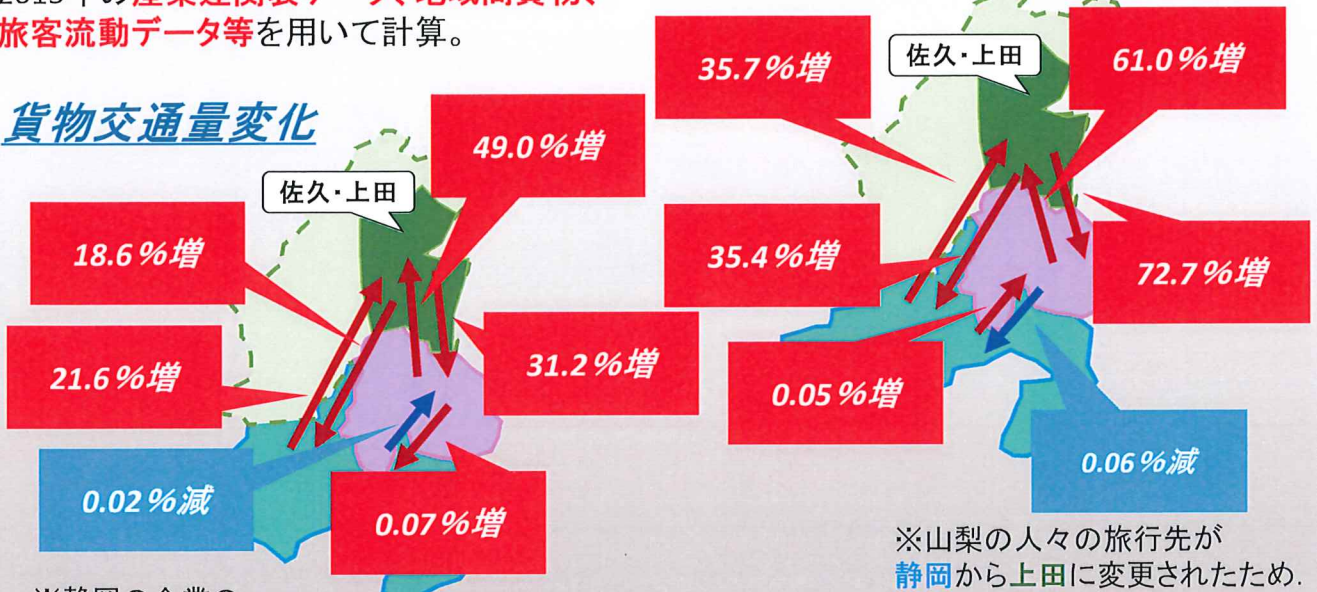


# 貨物・旅客交通量変化

空間的応用一般均衡(SCGE)モデルを使用。  
2015年の産業連関表データ、地域間貨物、  
旅客流動データ等を用いて計算。

## 旅客交通量変化

## 貨物交通量変化



※静岡の企業の取引先が、山梨から上田に変更されたため。

※山梨の人々の旅行先が静岡から上田に変更されたため。

### 年間当たりの交通増加量

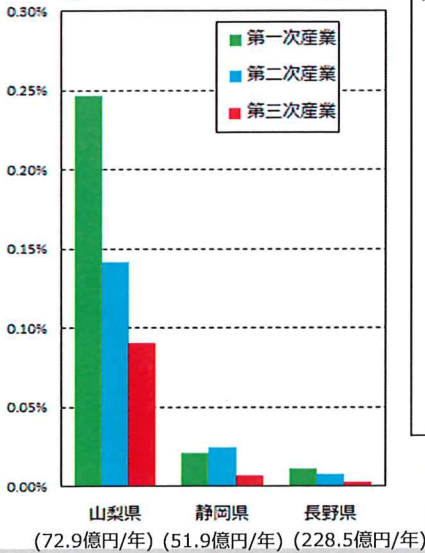
|          |                |                |
|----------|----------------|----------------|
| 山梨→佐久・上田 | 【貨物：6.4(万台/年)、 | 旅客：45.9(万台/年)】 |
| 静岡→佐久・上田 | 【貨物：8.7(万台/年)、 | 旅客：26.9(万台/年)】 |
| 佐久・上田→山梨 | 【貨物：0.7(万台/年)、 | 旅客：57.1(万台/年)】 |
| 佐久・上田→静岡 | 【貨物：5.5(万台/年)、 | 旅客：30.0(万台/年)】 |

# 生産量変化

地域・産業別生産量変化率

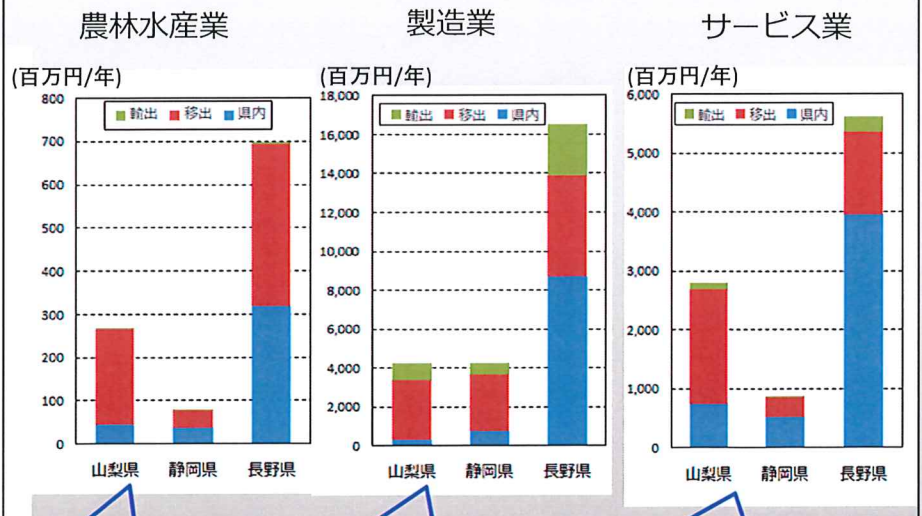
県内供給の増加に加え、移出の増加による生産量の増加！

第一次産業  
(農林水産業)  
の生産も増加



## 各地域の生産量変化の内訳

(生産量 = 県内供給\* + 移出 + 輸出)



野菜や果物の出荷増加が期待！

製造業の進出による生産増加が期待！

商業や金融、観光(宿泊)の増加が期待！

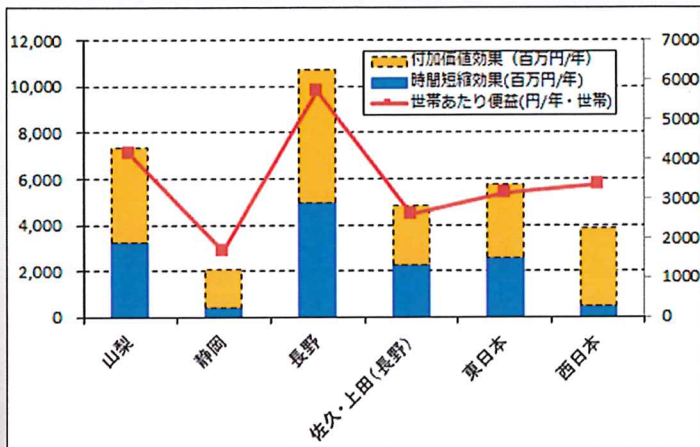


# 実質所得変化(便益)

## 実質所得変化(便益)

付加価値変化及び時間短縮効果  
(百万円/年)

世帯当たり便益  
(円/年・世帯)



## 最終費用便益分析結果

総便益：6,678億円  
(単年度：297億円/年)

総費用：4,168億円

**費用便益比 1.60**

※総費用は、八千穂～佐久南間の費用1006億円を距離に応じて算出したもの。

出典：国土交通省関東地方整備局

山梨県：年間73.5億円 (約0.12%増)

静岡県：年間21.0億円 (約0.01%増)

長野県：年間106.9億円 (約0.17%増)

〔佐久・上田：年間48.3億円 (約0.17%増)〕

※総便益の計算方法

$$\text{総便益} = \sum_{t=1}^{50} \frac{\text{評価時点の便益}(297\text{億円})}{1 + [\text{社会的割引率}(4\%)]^t}$$

現在価値算出のための社会的割引率：4%  
基準年次：評価時点(297億円)  
検討年数：50年

# 経済効果以外に考えられる効果

## 【医療】

救急搬送の時間短縮

救命率の向上

重篤患者に対する救急医療の支援など

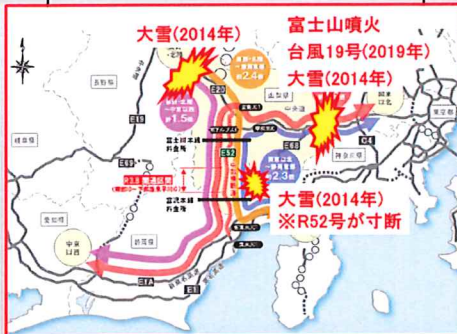


出典：峡南消防本部提供データ

## 【防災】

想定される被害の軽減

災害時による代替ルートなど



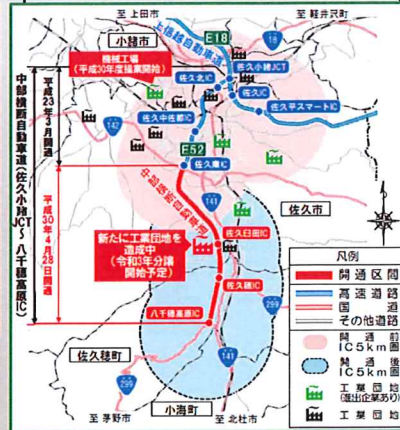
※連続利用する車両は、ETCを利用した車両のうち富士本線料金所と富士川本線料金所を80分以内に連続して利用した車両を集計(ETC2.0プローブデータから算出した旅行速度で国道52号等の移動にかかる時間約50分に休憩時間相当の30分を加えた時間)

出典：NEXCO中日本ETCログデータ(開通前：R1.5、開通後：R4.5)

## 【土地利用】

企業立地による不動産価値の上昇

住宅地開発による人口の増加など



出典：NEXCO中日本